平成29年度　定時制課程指導主事訪問　研究授業
商業科（情報処理）学習指導案

1．学びを深める意見交換、学び合い、発表等の言語活動を適宜設ける。
2．学び、考え、疑問点等を振り返り、次の学びへの興味へとつなげる。

日　時　平成２９年１０月３１日（火）２校時
場　所　本荘高校電算教室
指導者　秋田県立本荘高等学校定時制　　園部　晋士

１ 単　　元　　第２章　表計算ソフトウェアの活用（教科書名 最新情報処理　新訂版 実教出版　補助教材　日情検　情報処理検定34級解法　PDF版）

２ ク ラ ス　　第３年次（男子１２名、女子１名　合計１３名）

３ 指導目標　　１)表計算ソフトウェアの特徴を理解し、いろいろな関数の利用方法を習得する。

４ 生徒の状況　コンピュータへの学習意欲は高いが、使用目的がゲームやチャット・音楽のダウンロードなどの趣味が中心であり、オフィスソフトが入っていても使ったことがない生徒も多い、前期ワープロでは図形を挿入したビジネス文書の作成で、興味関心が上がってきたので、表計算に関してもこの調子で進めればと思っている。

５ 指導計画　　第２章　表計算ソフトウェアの活用（３０時間）
第１節　表計算ソフトウェアの利用・・・・・１３時間（本時５／１３）
第２節　グラフの作成・・・・・・・・・・・・５時間
第３節　データの検索・・・・・・・・・・・・４時間
第４節　報告書の作成・・・・・・・・・・・・８時間

６ 本時の目標　　表計算ソフトにおける関数の種類と特徴を踏まえて、データに見合った表の作成に必要な知識と技術を習得する。

７ 評価の観点

①関心･意欲･態度	②思考・判断　・表現	③技能	④知識・理解
表計算ソフトによる業務の処理に興味を持ち、表計算ソフトを活用するための演習に積極的に取り組むとともに、日常の問題解決にこれを活用しようとする。	表計算ソフトの機能を用いてデータを適切な表にあらわすことができる。	データの入力やワークシートの編集などの基本的な操作ができる。また、新しいWindowsの操作ができる	表計算ソフトの特徴ならびに、ワークシートの構成や機能を理解している。